

つづら折りの官道と古代の坂越え

大宰府と 坂道を 考える。

2024.2.3 土 13:00 ~ 16:45 (12:30 ~ 受付)
九州国立博物館 ミュージアムホール (1F)

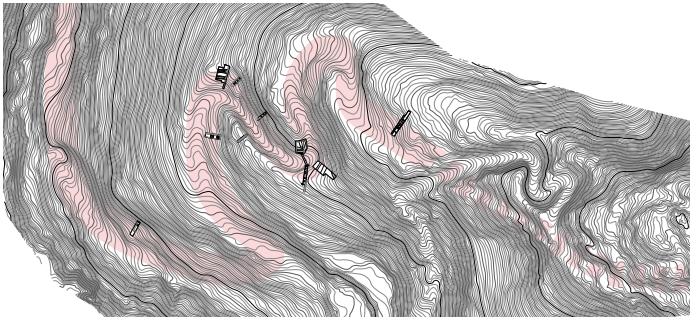


つづら折りの古代山陰道復元イラスト (鳥取県埋蔵文化財センター提供、山本正治作)

古代国家は、高低差をどのように克服したか。

古代の西海道では、大宰府を中心に官道（駅路）が伸び、大宰府と都、そして管内の諸国府とを結んでいました。直線的で強い規格性をもった古代の官道の遺構や痕跡は、大宰府の周辺でも多数確認されています。しかし、官道がどのように険しい山（峠）を越えていたのかという点は、研究上の課題でした。

近年、つづら折りの坂道を構築して急峻な丘陵を乗り越える官道（山陰道）の遺構が、日本で初めて確認されました。本シンポジウムでは、この発見を手がかりとして、山に挟まれた大宰府、そして山がちな九州を中心に、古代の官道のあり方、そして人々と坂道との関係について考えます。



養郷宮之脇遺跡実測図（鳥取県埋蔵文化財センター提供）



写真上 基山と城山道遠景（筑紫野市萩原から）（小鹿野亮氏提供）
写真下 城山道〔推定〕（筑紫野市原田付近）（同上）

◎プログラム 令和6（2024）年2月3日（土）

- 12:30～13:00 開場・受付
- 13:00～13:10 開会行事
- 13:10～14:00 **基調講演**「坂・峠と日本古代の交通」
鈴木景二（富山大学）
- 14:00～14:30 **報告1**「つづら折りの古代官道の発見
—因幡国山陰道跡の調査—」
坂本嘉和（鳥取県教育文化財団）
- 14:30～14:40 休憩
- 14:40～15:10 **報告2**「大宰府山越えの古代道
—塹山埋谷・辟山通道・大直小曲—」
小鹿野亮（筑紫野市歴史博物館）
- 15:10～15:40 **報告3**「大宰府管内の坂道
—西海道につづら折り官道はあったか—」
大高広和（九州国立博物館）
- 15:40～15:50 休憩
- 15:50～16:40 パネルディスカッション
- 16:40～16:45 閉会

定員：270名（参加費無料）
事前申し込み不要（当日先着順）

◎講師紹介

鈴木 景二（すずき けいじ）

富山大学学術研究部
人文科学系（人文学部）教授

1963年生まれ。1995年、神戸大学大学院文化学研究科（博士課程）単位取得退学。1996年、富山大学人文学部助教授。2006年、富山大学人文学部教授。専門は日本古代史。

主な関連著作に、「峠・境と古代交通」（鈴木靖民・吉村武彦・加藤友康編『古代山国の交通と社会』八木書店、2013年）、「国府・郡家をめぐる交通」（館野和己・出田和久編『日本古代の交通・交流・情報』1、吉川弘文館、2016年）、「九州の峠と境界祭祀」（『海路』第13号、海鳥社、2017年）などがある。



■最寄り駅／西鉄太宰府駅から徒歩約10分

■西鉄太宰府駅へのアクセス

西鉄福岡（天神）駅から西鉄大牟田線（特急・急行約15分）で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線で約5分。
JR博多駅から太宰府ライナーバス「旅人」にて約40分（博多バスターミナル1階11番のりば）乗車、終点の西鉄太宰府駅下車。

◎駐車場（有料）には限りがございます。予めご了承ください。




九州国立博物館
—太宰府天満宮横—
〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
ハローダイヤル050-5542-8600
（午前9時～午後8時/年中無休）
www.kyuhaku.jp